

ありがとう

(敬称略)

- 寄付金**
 カラオケみちのく会 22,000円
 北斗エンタープライズ 27,000円
 新日本舞踊 藤都流・松誉会 30,000円
 (株)恵めぐみ薬局 50,000円
 匿名 10,000円

- 物品**
 ●(公社)五所川原青年会議所
 不織布マスク39箱、マスクカバー488枚
 ●五所川原中央ライオンズクラブ
 ペットボトル飲料水240本
 ●五所川原東日流ライオンズクラブ
 ペットボトル飲料水240本
 ●五所川原ライオンズクラブ
 ペットボトル飲料水240本
 ●境谷葉子
 タオル類12枚、雑貨3品
 ●宮崎育子
 リハビリパンツ15パック、尿取りパッド
 18パック



▲交流がある台湾の青年団から贈られたマスクを寄付する、五所川原青年会議所/馬馬央也理事長
 ▲「水害お見舞い」と、五所川原東日流ライオンズクラブ(藤田剛会長)が飲み物を寄付

■アルミ缶・プルタブ等

- 五所川原
 荒谷美子、木村キヌエ、小林和子、高橋潔、富樫久子、成田明美、平田紀昭、堀内結人、三浦トシ、米谷美智子、USA柏店、梅沢地区社会福祉協議会、クリーニングサンみわ、五所川原点訳・朗読奉仕会、こども園かまや、ジャンボドライ五所川原、青山社デイサービスセンター、青松園、東北電力北斗寮、ラ・プリマベラ、(株)毛内酒店、(有)ジャンボドライ



▲プルタブと使用済み缶、いっしょに集まっただよーこも関わったの子どもたち



▲エコキャップとプルタブを寄付する、第一生命保険(株)青森支社(右側3名)さん(右側3名)

- 金木
 秋元祐子、秋谷文子、浅利勝義、石戸谷知子、伊藤タネ、角田正義、加藤洋子、木村武則、木村弘子、木村みゆき、今由春、白川豊之助、須藤信子、田中豊忠、長尾典子、長尾匠時、中西たけ、中谷勝治、奈良セツ、鳴海京子、前田みきよ、米塚恭生、大橋製材所、金木小学校、金木総合支所、かなぎ病院、県猟友会金木支部、津島ふとん店、

友和クラブ、夢の森ラッキー、ライフサポート夢の森

- 市浦
 相川勢子、秋田谷樹、秋田谷咲季、秋田谷実季、小野由紀子、亀田幸美、市浦総合支所、(有)サンワオート
- 子ども宅食への寄付
 ●(株)裕健ひなた薬局=メリーズパンツ24パック、女性用品45パック
 ●加藤忍=白米10kg、即席めん26個、レトルト品12個、ほか3品
 ●亀田幸美=そば5食セット、ヘアアイロン、シューズ
 ●(有)ジャンボドライ=お菓子8個、ほか1品
 ●千葉瞳=お菓子3個、ほか1品
 ●藤森海海・藤森鳳=お菓子等112個
 ●日の出町町内会=女性用品150パック、衛生用品9品、食料品9個
 ●佐藤瑞穂=レトルト食品22個、ほか食品14個、絵本20冊
 ●法永寺=缶飲料水24本、お菓子20個、ほか食品14個
 ●JAつがるにしきた女性部=日用品・雑貨225個、食品類417品
 ●(株)みかみ商事=ゼリー60袋
 ●五所川原金木ライオンズクラブ=非常食400食
 ●(一社)サイクルエクスプローラーあおもり・赤い屋根の喫茶店「駅舎」=お菓子100個
 ●匿名=玄米90kg、白米59kg、缶詰7個、カップ麺15個、飲料水22本、野菜ジュース13本、ドリンクゼリー10個、レトルト食品27個、おしりふき9パック、子供用おむつ5パック、プチトマト100袋、ズッキーニ24本

社協ごしよがわら

令和4年
10月号

編集・発行/社会福祉法人 五所川原市社会福祉協議会 電話 0173-34-3494 FAX 0173-35-5855
 〒037-0033 五所川原市字鎌谷町502-5 URL http://gccsw.net/ E-mail owner@gccsw.net
 ■金木支所・電話 0173-53-2241 ■市浦支所・電話 0173-62-3285



▲浸水家財の重さに驚き、運搬に力を合わせるボランティア
 ▲参加者が6人程の班になり、活動内容確認等を経て支援先に出向く



8月大雨、災害ボランティアセンターが初調整 復旧ボランティア150人超

8月の大雨による浸水被害(姥范字桜木地域など)からの復旧を、各種ボランティアが円滑に支援できるよう、本会は五所川原市と連携して8月14日に災害ボランティアセンター(本部長・乗田孝一社協会長)を初めて開設しました。

本会での開設は初めてながら、被災者の困りごとや片付けの希望を把握するために毎戸訪問や避難所訪問等を行い、同時に県内外からのボランティア募集を開始し、協力者の受付や温泉施設の無料送迎入浴、活動資材寄付の申出などに、双方の連絡調整をして結びつけました。

希望が集中した二日間は、市役所職員と共にローラー方式の活動を行い、その後は新たな個別要望に県外参加を含むボランティアが力を発揮しました。

この一連の活動には延べ154人が関わり、短期間で効果的な支援が行われたことにより、被災者の困りごとを早期に軽減し、再スタートに向かう意欲を高めることができました。

復旧支援を機に 意欲再生を支える

「二人での片付けで気が滅入っていた。見ず知らずの人のボランティアで元気が湧いた」と感謝すると、「ひとまず片付いたけど、無理せずに頑張る」と汗をぬぐうボランティアの励ましが、暮らしを元に戻す被災者の力強い支えになっていた。

近隣の助けあいやボランティア活動が復旧支援はもとより住民生活の不安を取り除くことに有効であり、これらの活動がお互いの生活意欲を豊かにする支えになることが示されました。

ボランティア活動のさらなる推進のために、この経験を活かしていきたい。

避難中もケア継続 福祉避難所が始動

今回の水害では、福祉施設を利用する高齢者や障害者の避難がありました。一般避難所では介護等の環境が整わず、心身の不調が特に心配なため、五所川原市と協定締結する複数の福祉施設が、初めて避難者を受け入れました。

避難者に関する情報不足でも、服薬内容や心身の自立度、食事や寝具等に配慮し、安全で安心できる専門的ケアが9日程提供され、復旧を終えた自らの生活施設での暮らしに戻っています。(本会では、養護老人ホームくるみ園と金木生活支援ハウスで延べ128人を受入)

～豊かな地域福祉を築こう～ 第65回 五所川原市社会福祉大会 「つながりで広がる安心、ふくしの輪」

より多くの世代の人が健康を保ち、交流を回り、元気に暮らせる地域づくりに参画する意識を高めるために講演や式典を行います。

《日時》令和4年10月22日(土)
 受付 12:00～

入場無料
 粗品あり

《会場》オルテンシア 大ホール
 《日程》
 12:30 オープニングセレモニー
 演奏：マーチ「ブルー・スプリング」
 (五所川原第一中学校吹奏楽部 様)
 12:50 講演
 14:00 式典 福祉功労者の表彰等
 15:00 終了

開催中は、福祉施設の生産品販売、おさがり服譲渡会(サイズ60～150cmくらい)など皆さんが楽しみいただけます。

※座席に限りがございます。また、各種状況により、実施内容が変更になる場合があります。ホームページ等でご確認ください。



講師 佐藤 弘道氏



▲「災害ボランティアセンター」で役立てて、と、五所川原ライオンズクラブ(中山真由子会長)から飲み物の寄付



▲日の出町町内会(垂石松夫会長)と副会長)から今年度も女性用品を寄付

各種印刷物・デジタルコンテンツにおける企画・デザイン・制作から製版・印刷・製本

地域文化と価値創造の接点。
(有)アート印刷

【本社】五所川原市金山字亀ヶ岡46-7 TEL 0173(34)4487・FAX 0173(34)4459
 URL http://www.artprt.co.jp E-mail net@artprt.co.jp
 【つがる支店】つがる市木造千代町42 TEL 0173(42)1245・FAX 0173(42)8085

青森県認証介護サービス事業所



- ◎小規模多機能型居宅介護 ケアホームのりた TEL 34-4856
- ◎小規模多機能型居宅介護 ふれあいホームいこい TEL 26-5518
- ◎高齢者グループホーム・認知症対応型通所介護 憩いの家 TEL 33-4301
- ◎居宅介護支援・訪問介護・介護タクシー ケアセンターいこい TEL 33-4308



ご相談受付 介護を必要としている人々の人生を、より味わい深いものにするために、私どもは、精一杯のお手伝いをさせていただきます。ご利用の相談やお聞きになりたいことがありましたら上記電話番号までお気軽にご連絡下さい。



市民の喜び増加!あなたの身近でも!!

市内で集まった募金は、住み慣れた五所川原で誰もが安心して暮らせるよう、地区社会福祉協議会や各種団体、ボランティアの活動を充実させ、市民の身近な活動で役立っています。

NO.1
事業紹介

町内会が主体となった支え合い活動等が円滑に行われるように、助成金と助言で支援します。

町内会活動支援



NO.2
事業紹介

高齢者疑似体験や車いす体験等で思いやりの心を育み、福祉への関心や理解を深めます。

福祉体験学習



NO.3
事業紹介

市民の連携・協働を強めることで共に支えあう社会の実現を目指し、講演や表彰を行います。

社会福祉大会



NO.4
事業紹介

広報やホームページ、声の社協などでボランティア等の福祉情報を提供します。

福祉情報を発信



NO.5
事業紹介

レクで交流!
歌でパフォーマンス!



障がいをお持ちの方々がその家族やボランティアと一堂に集い、レクリエーションやゲームで親睦を深め、福祉の理解を促します。

NO.6
事業紹介

ひとり親世帯を
社会で支える



サンタクロースとトナカイに扮して、ひとり親世帯の乳幼児を対象に、プレゼントを持って訪問・交流します。

NO.7
事業紹介

立佞武多を
ボランティアと一緒に



運行に参加したいと願う在宅高齢者や障がいをお持ちの方とボランティアが、二人三脚で実現します。

NO.8
事業紹介

しめ縄づくりで
歳末交流!



金木地区の高齢者を対象に、しめ縄づくりを通して相互の交流を図ります。

NO.9
事業紹介

ゲームと会食で
新年に意欲!



元気に過ごした1年に感謝し、さらに健康な新年を願い、市浦地区の一人暮らし高齢者が交流します。

ありがとう

昨年度の実績額

- 赤い羽根共同募金 7,112,078円
- 歳末たすけあい募金 1,292,830円

今年度の目標額

- 赤い羽根共同募金 8,320,000円
- 歳末たすけあい募金 1,310,000円

赤い羽根共同募金 10月1日スタート!



本会への募金のうち、約7割は五所川原市内の福祉活動（左を参照）で活用し、3割は青森県内の福祉を充実する事業や災害時のボランティア支援などに役立てられます。

12月には、歳末たすけあい募金によって、お正月を明るく迎える活動が行われます。

街頭募金は、10月1日(土)、ELMの街ショッピングセンターとスーパーストア金木タウンセンター店で実施。新型コロナウイルス感染症予防対策を講じて行います。ぜひ皆様のご協力をいただきたく、お待ちしております。

五所川原市限定!

ごしよりん
ピンバッジ



募金500円以上で
1個贈呈

300個限定

(サイズ25mm×25mm)

お問合せ・受付窓口

五所川原市共同募金委員会(五所川原市社協内) ☎34-3494

まちがいがし

正解者の中から10名様に「クオカード500円分」プレゼント!



2つの絵には、ちがうところが10コあります。

☆全部のまちがいに○をつけた絵を切り取り、ハガキに貼って郵送してください。

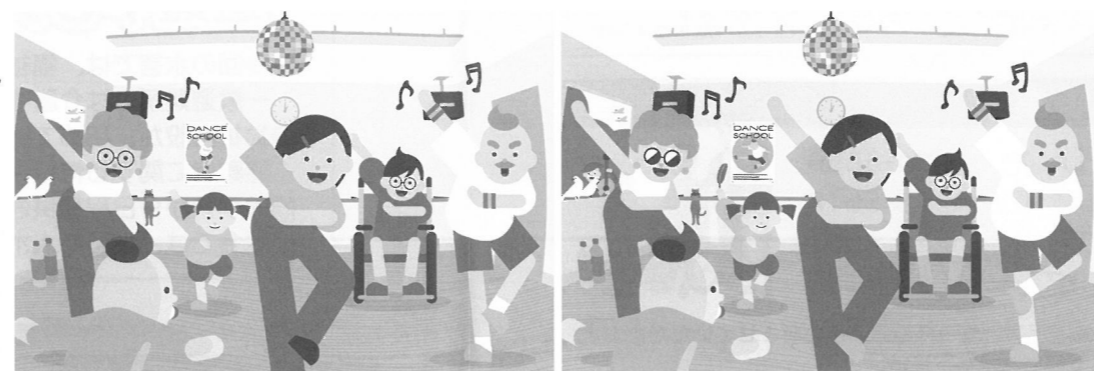
☆応募方法: 住所、氏名、年齢、電話番号を記入し、下記へお送りください。

☆応募締切: 令和4年10月31日(月) 必着

☆送付先: 〒037-0033 五所川原市字鎌谷町502-5

五所川原市社会福祉協議会

※当選者の発表は、プレゼントの発送をもってかえさせていただきます。



電気のこと
暮らしのこと

お宅の困ったは「丸英」承ります



丸英デンキー番館

つがる市柏稲盛幾世171 Tel. 0173 (27) 5101



オール電化のことなら 東北電力電化普及協力店 エリビルショップ

丸英設備

空調設備 給排水設備 電気工事

株式会社 丸英でんき

〒037-0056 五所川原市末広30-43 TEL. 0173-35-0103